






## 第58回神奈川県看護賞受賞者名簿

\*各項目とも令和5年4月1日現在  
(職種・五十音順、敬称略)

	区分	氏名	所属(所在地)	功績等
1	保健師	いわい ゆうこ 岩井 裕子	横浜市保土ヶ谷福祉保健センター (横浜市)	横浜市で初めての、市民が妊娠期から就学前まで総合的に理解できる教材「どれどれ」の企画編集を手がけ、一貫した情報提供を実現させた。また、健康づくり事業を立ち上げ、瀬谷区内の健康サポーター育成、ウォーキング普及に尽力した。さらに、横浜市児童虐待連携強化指針作成プロジェクトに従事し、虐待予防のための各種施策を提案し、具体的な施策に結び付けた。
2	保健師	はぎお みゆき 萩尾 みゆき	平塚市福祉部介護保険課 (平塚市)	平塚市子育て世代包括支援センターにおいて、庁内外の関係機関と積極的に連携を図り、母子保健の向上に貢献した。特に市オリジナルの産後うつ対策フレームを構築するとともに、企業と協働で「ひらつかはぐくみ葉酸プロジェクト」を立ち上げ、母子保健における葉酸の普及啓発に尽力した。また、新型コロナワクチン集団接種においては、市医師会、薬剤師会、看護職、市民と協働し、接種体制の構築や実施に取り組んだ。
3	保健師	よねおか ゆみえ 米岡 由美恵	横浜市港北福祉保健センター (横浜市)	児童虐待対策、ひとり親家庭の支援に力を注いだ。また、助産院と連携し、新規に横浜市の「産後母子ケア事業」を立ち上げ、産後母子の児童虐待防止に力を注いだ。さらに、新型コロナウイルス感染症流行禍では当初から第8波に至るまで、区福祉保健課長として職員の健康管理に留意しながら陽性者への対応や、医療機関や施設での感染拡大防止に尽力した。
4	助産師	むらかみ あけみ 村上 明美	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 (横須賀市)	臨床助産師として、大学病院の産婦人科病棟では妊産婦・新生児のケアや生殖器疾患女性の看護に、外来では家族計画指導、母乳育児支援、思春期・更年期女性の健康相談に携わってきた。また、大学教員としては、母性看護学・助産学担当教員として、質の高い看護職人材の養成を推進し、現在は、学長として教育の内部質保証に積極的に取り組んでいる。
5	看護師	いづか まゆみ 飯塚 真弓	大和市立病院患者サポートセンター (大和市)	看護部長として、新人看護職員の職場適応を支援するための指導體制の整備、指導者の育成など、後進の指導監督をするとともに、看護基礎教育機関からの実習の受け入れ拡大を図った。また、看護協会地区委員の役割を担い、地域医療機関の看護職員と協働し、地域住民の健康保持、看護の質向上に尽力した。

		区分	氏名	所属（所在地）
		功績等		
6		看護師	かとう せつこ 加藤 節子	公益社団法人神奈川県看護協会 (横浜市)
		複数の看護師等養成機関で、看護管理や倫理、医療安全の講義を担当し後進育成にあたった。また、看護部長として看護師の資質向上に努めると共に、神奈川県看護協会医療安全ネットワーク交流会の立ち上げや、地域の看護師が看護を考え意見交換する地域看護連絡会の開催・継続に関わるなど、地域看護の発展にも尽力した。		
7		看護師	かやま しずこ 嘉山 静子	三浦市立病院 (三浦市)
		神奈川県看護協会横須賀支部理事として、看護の質の向上と協会組織の活性化に尽力した。また、緩和ケアや在宅看取りについて出前講座や院内での公開講座を提供し、在宅医療・在宅看取り・施設看取りの推進に貢献した。		
8		看護師	こいけ みちこ 小池 美智子	国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 (横須賀市)
		年間延べ5,000人を超える看護実習生を受け入れ、後進の育成に尽力した。また、看護部理念の検討・コーチング・リフレッシュ研修等、組織能力向上に向けて継続的に取り組んだ結果、看護師の意識・意欲に変化を生じさせ離職率が減少、看護師の定着に貢献した。		
9		看護師	よこい やよい 横井 弥生	医療法人社団相和会渕野辺総合病院 (相模原市)
		神奈川県看護協会、神奈川県看護部長会、相模原市病院協会看護部長会など各種看護関連団体の役員として、長年にわたり、地域の医療・看護の質の向上、連携強化などに尽力した。		
10		看護師	わしづか あきこ 鷺塚 明子	医療法人社団水野会平塚十全病院 (平塚市)
		厚木市立病院開設時、診療所や病院との連携を密にし、最適な医療サービスの提供体制構築に貢献した。また、変則2交代制勤務を導入するなど、情勢に合わせた職員の勤務環境の向上に尽力し、院内の業務改善・効率化に大きな成果を残した。		